

事務事業名	勤労青少年ホーム運営事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	公民館	H29係等名	管理係	H28担当課等名 公民館				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	28	学習交流活動の推進					
目的	対象(誰・何を)	勤労青少年ホーム利用対象者				指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	・勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。				18歳～40歳迄の男女の人口(人)	21680	
	向上させたい上位施策の成果指標	学習活動を行っている市民の割合				青少年ホーム利用登録者数(人)	75	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	勤労青少年ホーム利用者数(人)		5000	5890	6000	6048	
	定性目標							
事業概要	<p>勤労青少年ホームは、地域の将来を担う若者が余暇や休日を利用した活動を通じて友情を深め、知性を磨き、よき社会人、地域のよき担い手として成長を図る場であり、サークル活動、教養講座、利用者会活動を三本柱に据え、運営していく。 25年度に行った勤労青少年意識調査の結果を踏まえ、各種講座の中で資格取得に結び付けるような講座を重点実施していく。体育協会と連携しながらコーディネーショントレーニング等のスポーツ関連事業の展開を推進する。</p> <p>1 教養講座の開設 2 ニート対策事業の運営 3 シニアを対象とした昼間の講座の開設</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 前・後期教養講座の開設			1 登録者数(人) 前・後期教養講座 (1)講座数 (2)延べ受講者数(人)	1	222	(1)20 (2)1,151	
	2 グループ活動の育成 3 ニート対策事業の実施			2 クラブ・サークル団体数	2	5		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	6,409	7,131	6,336	0	(そ) 青少年ホーム講座受講者負担金			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	272	225	266					
一般財源	6,137	6,906	6,070					
人件費計(千円)②	0	0	0	0				
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	6,409	7,131	6,336	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>ネットを利用した申込みを開始する、講座内容の再検討を行う、など取り組んでいるが、利用者数は減少傾向にある。青少年層が人と人の出会いや関係づくりに消極的な傾向がみられること、夜間休日等の勤務が多いことが要因となっている。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	勤労青少年に対する現代的な課題を把握して、新たな事業等を展開する必要がある。						
	②改革提案	体育協会との合同事務所により、今までの学習活動に加えてスポーツ面での事業を開拓していくこと。ニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりを他関係団体と連携して取り組むこと。						